

2023年3月期 第2四半期決算概要



日進工具株式会社

2022年10月31日
(証券コード6157)

目次

2023年3月期2Qの業績	P. 3 . . .	第2四半期決算（累計）の概要
	P. 4 . . .	営業利益の減益要因
	P. 5 . . .	損益計算書サマリー
	P. 6 . . .	貸借対照表サマリー
	P. 7 . . .	四半期業績推移
<hr/>		
2023年3月期の業績予想	P. 14 . . .	業績予想
	P. 15 . . .	配当予想
<hr/>		
参考資料	P. 17 . . .	過去5年間の業績と主要データ推移
	P. 18 . . .	投資指標
	P. 19 . . .	株価推移とバリュエーション
	P. 20 . . .	I R 情報サイトのご案内

2023年3月期 第2四半期の業績



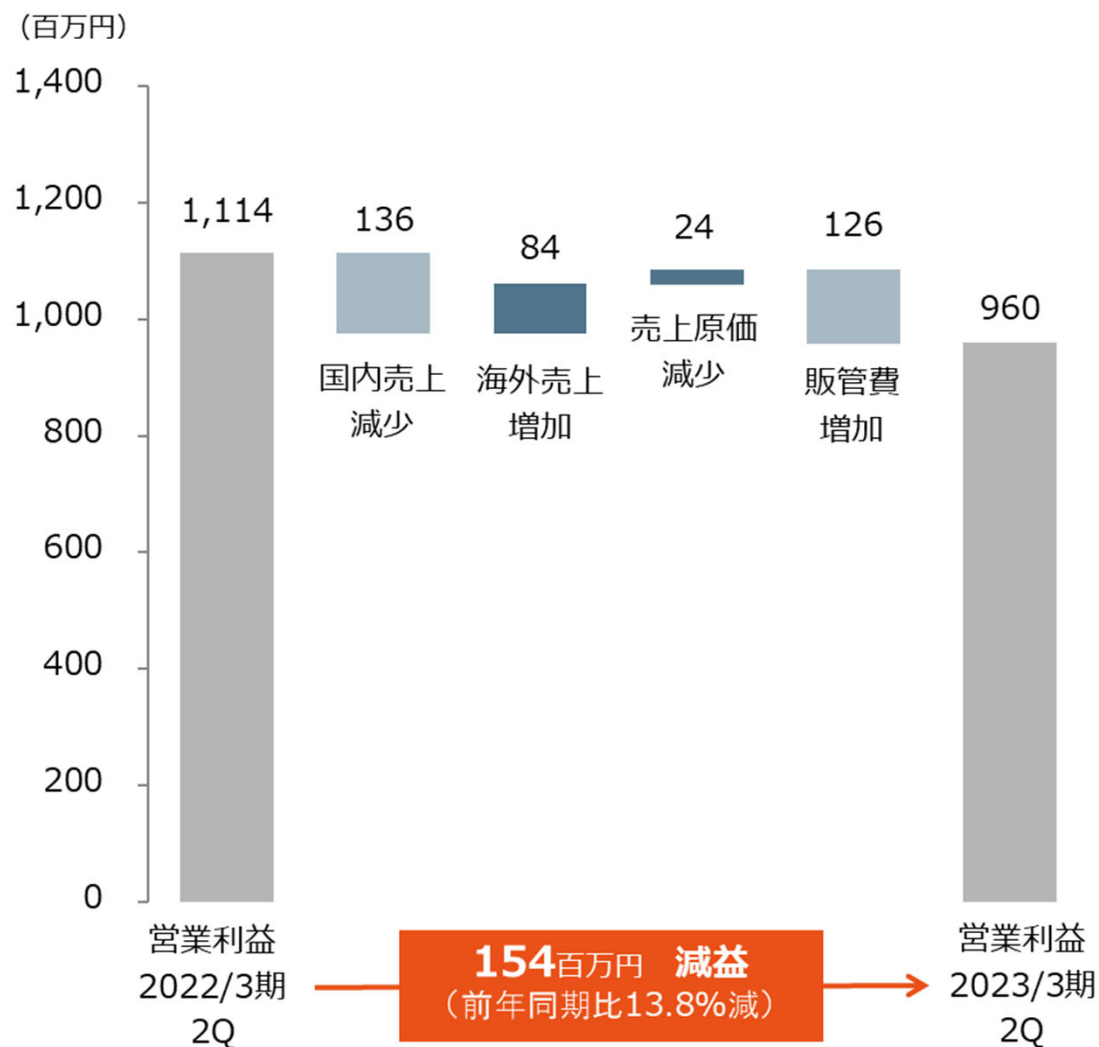
第2四半期決算（累計）の概要

前年同期に比べ減収・減益
通期業績予想を下方修正

(単位：百万円)	2022年3月期 2Q累計	2023年3月期 2Q累計	2023年3月期 通期予想	進捗率
売上高	4,821	4,768	9,370	50.9%
前年同期比	+32.6%	-1.1%	-1.6%	
営業利益	1,114	960	1,790	53.6%
前年同期比	+175.7%	-13.8%	-15.2%	
経常利益	1,130	955	1,790	53.4%
前年同期比	+154.6%	-15.5%	-17.0%	
四半期純利益	770	620	1,210	51.2%
前年同期比	+180.2%	-19.6%	-20.5%	

- 自動車関連は一部の部品不足や供給制約の影響を受け減産が継続し、低調に推移した。半導体や電子部品・デバイス関連では活況が続いていた半導体関連もスマートフォンやPC需要の落ち着きにより一服感が見られた。
- 連結売上高は4,768百万円と、前年同期比1.1%の減少となった。
- 連結経常利益は955百万円と同15.5%の減少。売上高経常利益率は20.0%と同3.5ポイント低下。
- 下期にかけて景気後退が懸念されることに加え、コスト上昇が予想されることから、10月に通期業績予想を下方修正。
(P.14参照)

営業利益の減益要因



- 売上高は、国内が前年同期比136百万円、4.1%減少した一方、海外は同84百万円、5.6%増加した。売上高全体では同52百万円、1.1%の減少となった。
- 売上原価は同24百万円、1.1%の減少と売上高と同等の減少率。
- 販管費は、同126百万円、9.0%増加した。上期に3件開催された大規模展示会のほか、増加してきた実開催の展示会へ出展したことにより、展示会費や広告宣伝費等を含めた販売費が同55.4%増加した。
- これらの結果、営業利益は同154百万円、13.8%減少し960百万円となり、売上高営業利益率は20.1%と前年同期の水準を3.0ポイント下回った。

損益計算書サマリー

(単位：百万円)	2022年3月期 2Q累計	2023年3月期 2Q累計	前年同期比 増減率
売上高	4,821	4,768	-1.1%
売上総利益 対売上高比率	2,511 52.1%	2,483 52.1%	-1.1%
販管費 対売上高比率	1,396 29.0%	1,522 31.9%	+9.0%
営業利益 対売上高比率	1,114 23.1%	960 20.1%	-13.8%
経常利益 対売上高比率	1,130 23.5%	955 20.0%	-15.5%
四半期純利益 対売上高比率	770 16.0%	620 13.0%	-19.6%
設備投資額	173	313	+81.1%
減価償却費	332	328	-1.1%
従業員数（人）	349	353	+1.1%

- 売上高は4,768百万円と前年同期比1.1%の減少。
- 売上総利益は2,483百万円と同1.1%減少。製品在庫増加により売上原価が同1.1%減少しており、売上総利益率は52.1%と横ばい。
- 販管費は販売費の増加等に伴い、同9.0%増加し、売上高販管費比率は31.9%と同2.9ポイント上昇。
- これらにより、営業利益は同13.8%減少の960百万円、売上高営業利益率は20.1%と同3.0ポイント低下した。
- 設備投資額は、期初計画に基づく生産設備の増強により313百万円と同81.1%の増加。上期導入設備の大半が下期稼動予定となっているため減価償却費は同1.1%の減少となった。

貸借対照表サマリー

(単位：百万円)	2022年 3月期末	構成比	2023年 3月期2Q末	構成比	前期末比
(資産の部)					
I 流動資産	11,807	66.1%	12,082	66.6%	+2.3%
現金及び預金	8,543	47.8%	8,537	47.1%	-0.1%
受取手形及び売掛金	1,322	7.4%	1,439	7.9%	+8.8%
棚卸資産	1,840	10.3%	2,026	11.2%	+10.1%
II 固定資産	6,066	33.9%	6,053	33.4%	-0.2%
有形固定資産	5,435	30.4%	5,454	30.1%	+0.4%
無形固定資産	32	0.2%	29	0.2%	-8.9%
投資その他の資産	598	3.4%	569	3.1%	-4.9%
資産合計	17,874	100.0%	18,136	100.0%	+1.5%
(負債の部)					
I 流動負債	1,483	8.3%	1,318	7.3%	-11.1%
買掛金	249	1.4%	261	1.4%	+5.0%
II 固定負債	224	1.3%	224	1.2%	-
負債合計	1,708	9.6%	1,543	8.5%	-9.6%
(純資産の部)					
自己資本合計	15,950	89.2%	16,376	90.3%	+2.7%
純資産合計	16,165	90.4%	16,592	91.5%	+2.6%
負債・純資産合計	17,874	100.0%	18,136	100.0%	+1.5%

流動資産

商品及び製品や原材料といった棚卸資産が増加したこと等から前期末比2.3%増加。

固定資産

有形固定資産は微増、投資有価証券の評価損計上等により投資その他の資産が減少したことから同0.2%減少。

負債

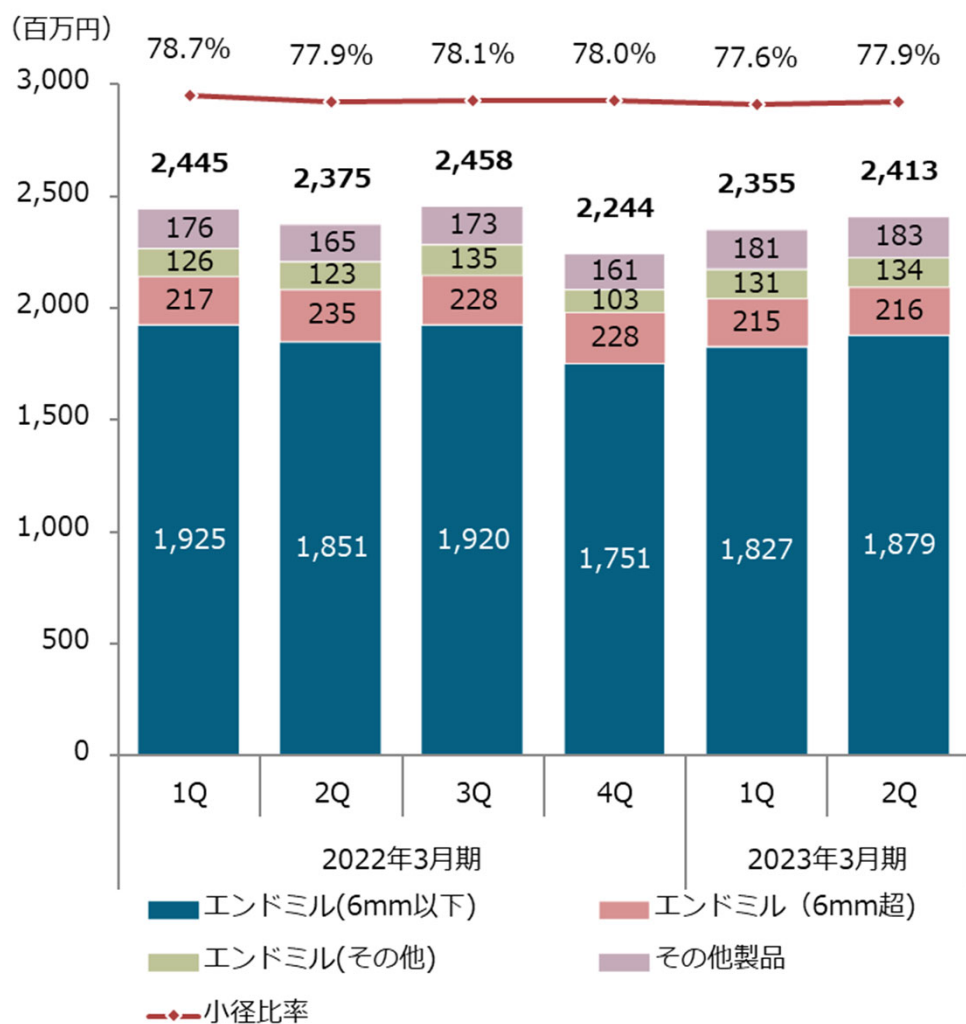
未払法人税等や賞与引当金の減少等により、同9.6%減少。

純資産

利益剰余金の増加等から、同2.6%増加。自己資本比率は90.3%と同1.1ポイント上昇。

四半期業績推移（売上高の推移①） 製品別

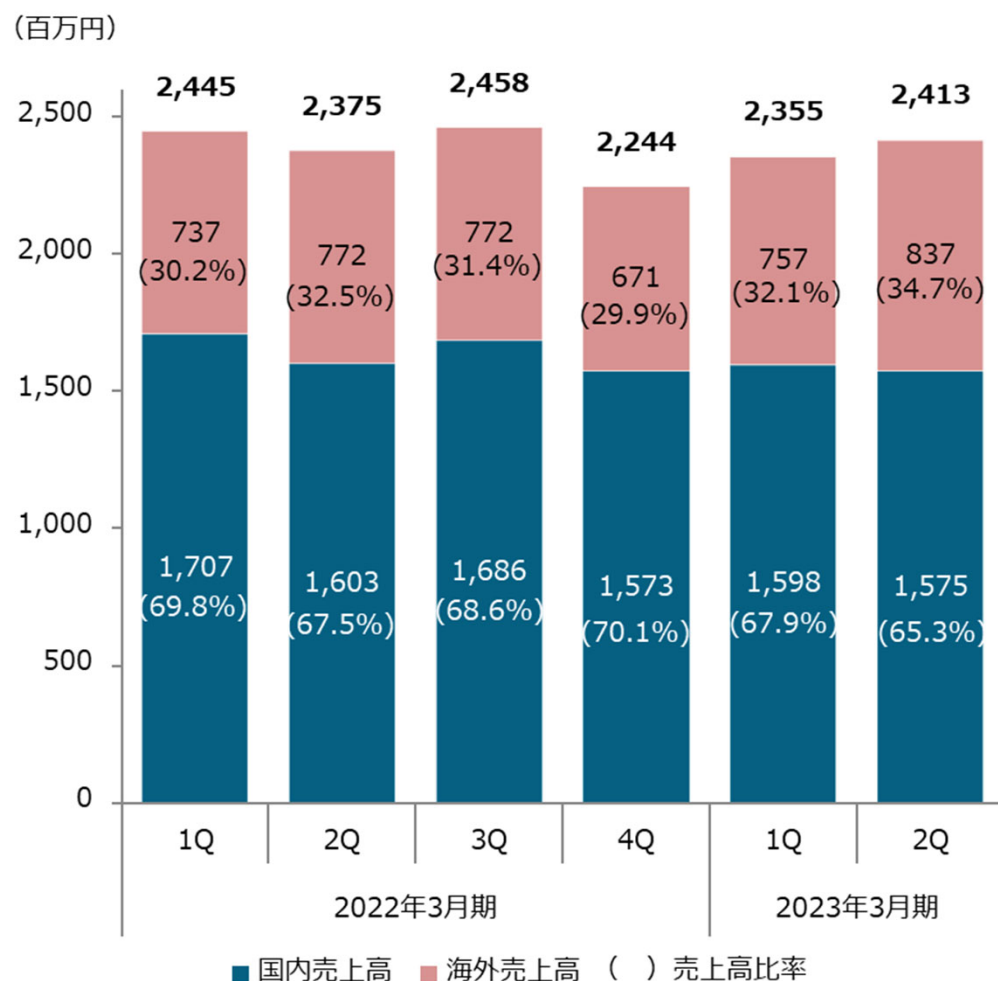
製品別売上高と小径比率の推移



- 自動車関連は、一部部品の供給不足により大手自動車メーカーの生産台数が伸び悩んだ。生産を継続していた部品メーカーが在庫過多となったことから、工具需要が減少した。半導体や電子部品・デバイス関連は、半導体関連でスマートフォンの販売鈍化やリモートワーク等のPC需要に一巡が見られた。
- 7-9月期の売上高は2,413百万円と前年同期比1.6%増加。当期の4-6月期比でも2.4%増加した。
- 製品別では、主力のエンドミル（6mm以下）が前年7-9月期比1.5%増加、エンドミル（6mm超）は同8.1%減少した。ユーザーの独自仕様となる特殊品を中心としたエンドミル（その他）は同8.9%増加、工具ケース等のその他製品は、同10.7%増加した。小径比率は77.9%と横ばい。

四半期業績推移（売上高の推移②） 国内・海外

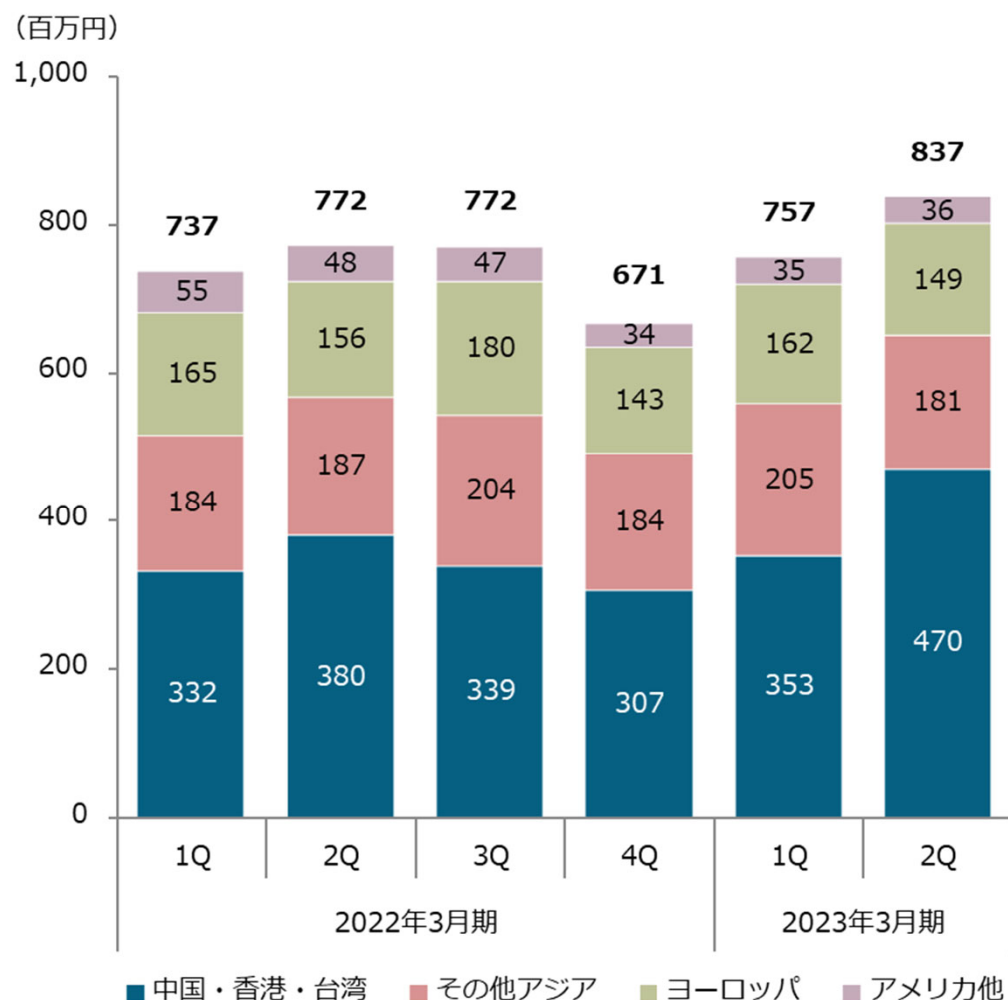
国内・海外売上高の推移



- 国内売上高は前年7-9月期比27百万円、1.7%減少し1,575百万円となった。一方、海外売上高は同65百万円、8.4%増加し、837百万円となった。
- 海外売上高は、中華圏での売上が増加。日進工具香港の連結にからみ、当四半期の中国向けの数字は4-6月分。例年スマートフォン向け需要が高まる時期に加え、当期は円安の進行がプラス要因となった。
- 海外売上高比率は前年7-9月期比2.2ポイント上昇し34.7%となった。

四半期業績推移（売上高の推移③） 海外地域別

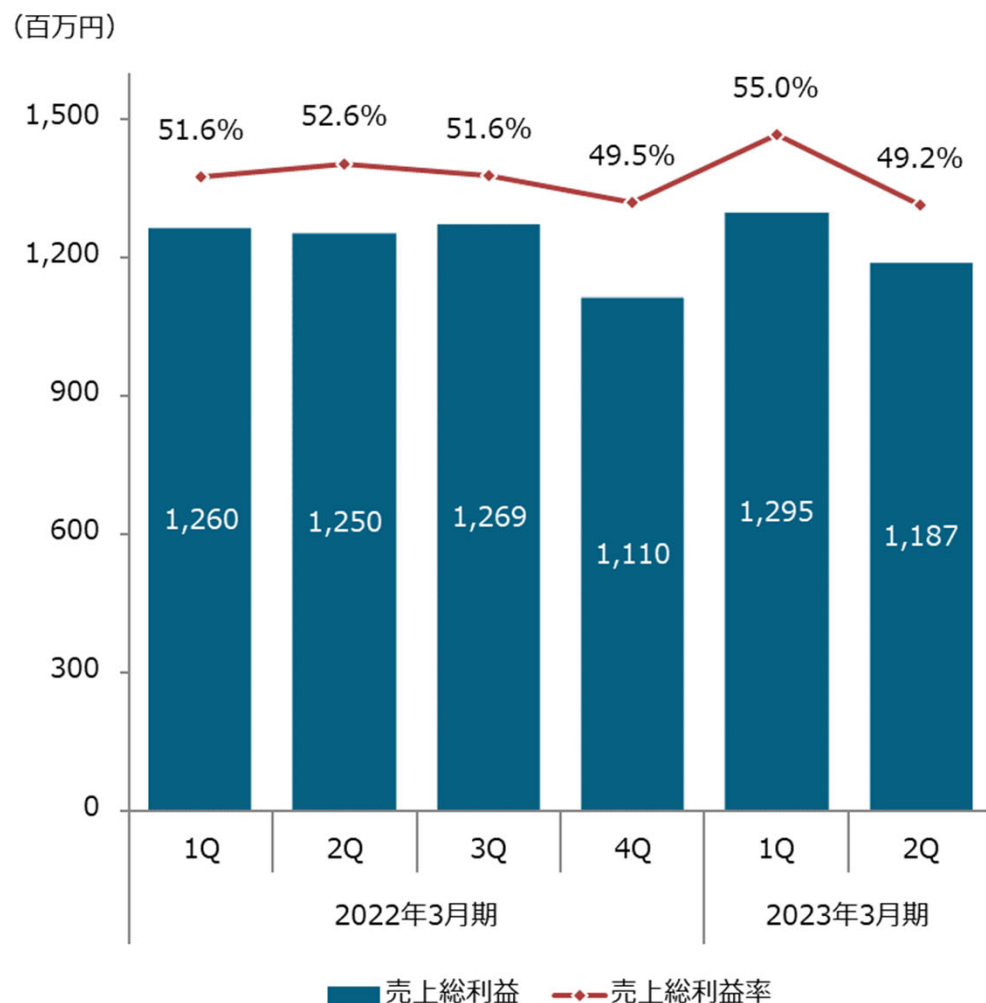
海外地域別売上高の推移



- 中国・香港・台湾は前年7-9月期比23.5%増加、四半期での売上高は過去最高の470百万円となった。スマートフォン向け需要の増加や、ユーザーの手許在庫確保の動きがあった。加えて、また、VR機器や自動運転車等新たな需要が増えている光学レンズ関連が好調であった。
- その他アジアは同3.1%減少し181百万円。部品供給不足によるユーザーの減産が影響した。
- ヨーロッパは自動車関連の需要が回復せず。また、エネルギー価格高騰による産業への影響もあり、同4.3%減少し149百万円。
- アメリカ他は医療関連が堅調なもの自動車関連が低調のため同25.1%減少の36百万円となった。なお、今年9月にアメリカ最大規模の工作機械展示会「IMTS」に出展、昨年設立したNS TOOL USAを積極的にPR、今後拡販を狙う。

四半期業績推移（売上総利益の推移）

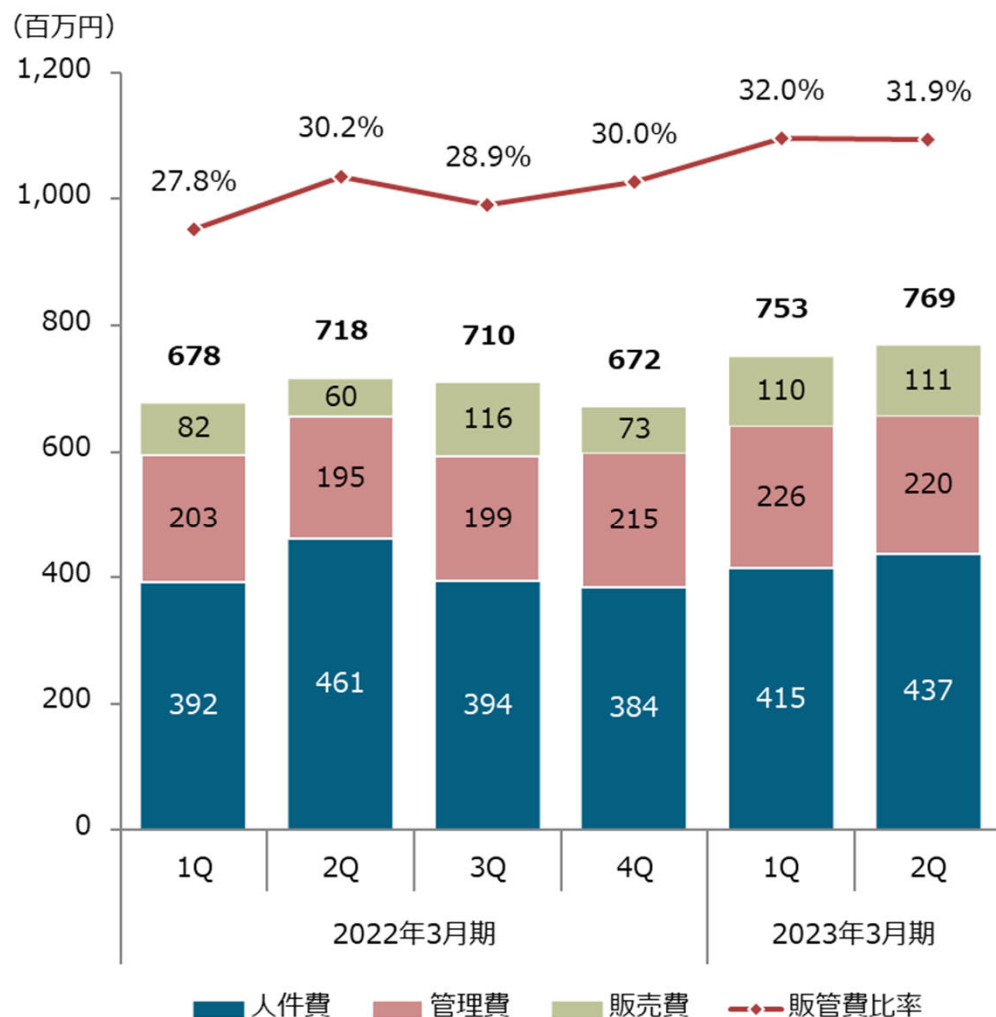
売上総利益と売上総利益率の推移



- 販売の伸び悩みに応じて生産量を落としていることから、材料費は前年7-9月比8.8%、外注加工費は同2.8%減少したが、4月から原材料の値上げを受け入れていることもあり、原材料価格は徐々に上昇している。労務費は同3.6%減少したものの、製造経費は、修繕費や電力費を中心に同11.2%増加した。なお、電力費は前年7-9月比で2～3割程度上昇している。
- 売上原価は、日進工具香港の連結にからみ、4-6月の中国向け売上原価が加算されることから、前年7-9月比8.9%の増加となった。
- これにより売上総利益は同5.0%減少し1,187百万円、売上総利益率は49.2%と同3.4ポイント低下した。

四半期業績推移（販管費の推移）

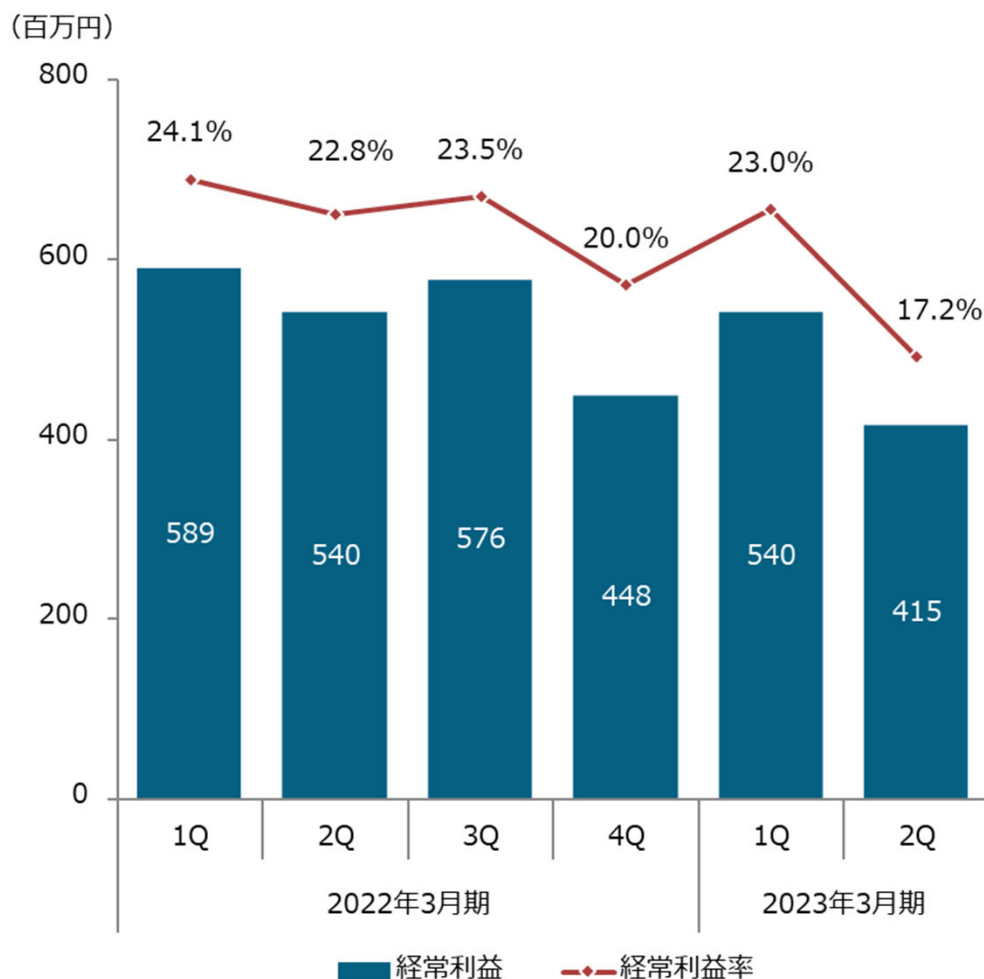
販管費と販管費比率の推移



- 販売費は、アメリカでのIMTS、名古屋でのインターモールドといった大規模展示会への出展により、展示会費が増加したことに加え、カタログやパンフレットの制作により広告宣伝費等も増加したことから、前年7-9月期比83.2%増加の111百万円となった。
- 人件費は、賞与引当金の減少等から同5.2%減少し437百万円。
- 販管費全体では同7.2%増加の769百万円、売上高販管費比率は31.9%と同1.7ポイント上昇した。

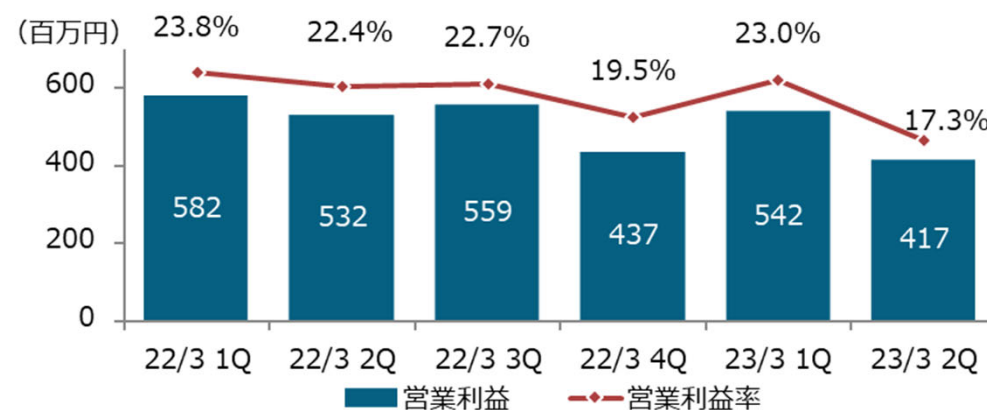
四半期業績推移（経常利益の推移）

経常利益と売上高経常利益率の推移



- 営業利益は売上原価と販管費の増加等により前年7-9月期比21.5%減少、417百万円となった。
- 営業外損益で為替差損が6百万円発生したこと等もあり、経常利益は415百万円、同23.2%の減少。
- 売上高経常利益率は17.2%と前年7-9月期の水準を5.6ポイント下回り20%割れとなった。

(参考) 営業利益と売上高営業利益率の推移



2023年3月期の業績予想



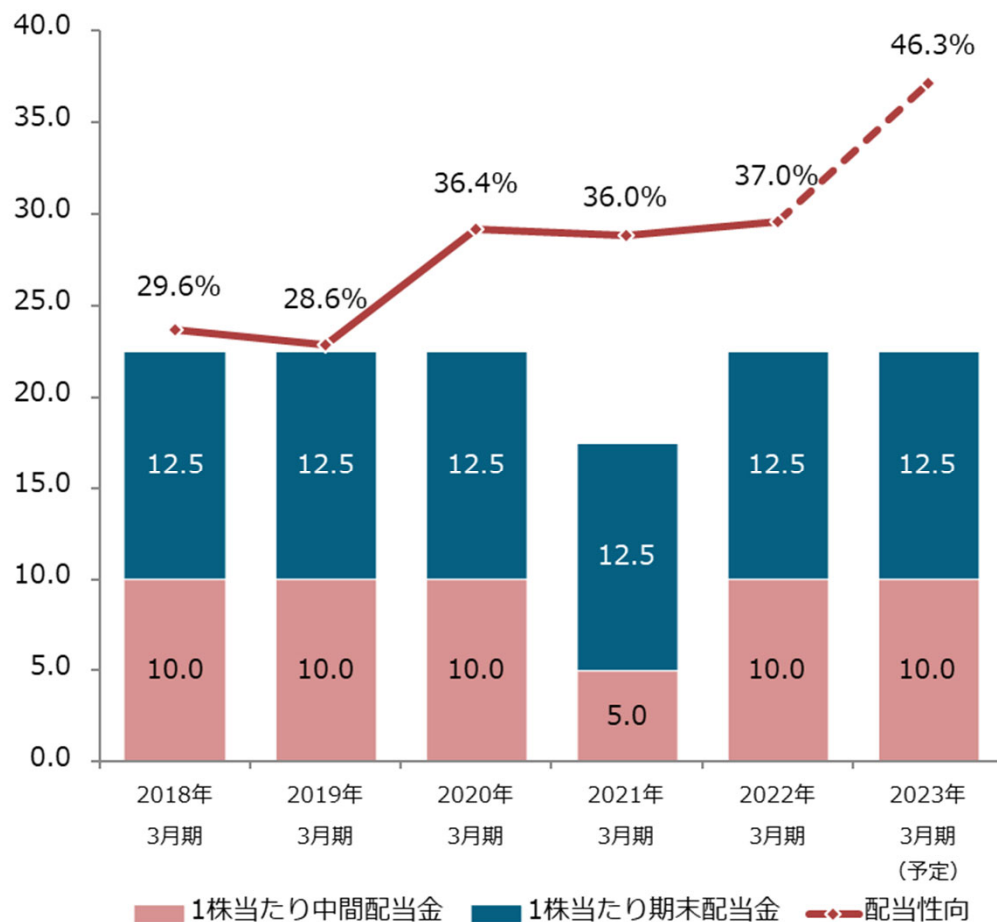
業績予想

(単位：百万円)	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期予想	前期比 増減率
売上高	9,524	9,370	-1.6%
営業利益	2,111	1,790	-15.2%
経常利益	2,156	1,790	-17.0%
当期純利益	1,522	1,210	-20.5%
設備投資額	659	1,064	+61.4%
減価償却費	692	780	+12.8%
EPS (円)	60.89	48.56	-20.2%
1株当たり配当金 (円)	22.50	22.50	-

※2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮していません

- 諸外国での金融引き締め政策により、2023年以降世界経済が減速し、外需下振れが懸念される。自動車関連では減産が継続し、半導体関連では需要の減退により工具需要は今後低調に推移すると予想される。資源高や円安の進行により原材料や電力費を中心にさらなるコスト増加も見込まれる。
- コスト上昇を受け、11月受注分から一部製品の値上げを実施するが、値上げ効果は第4四半期以降になる見込み。
- 売上高は前期比1.6%減の9,370百万円、営業利益は同15.2%減の1,790百万円、経常利益は同17.0%減の1,790百万円を予想。製造費用・販管費ともに増加が見込まれるため、利益は売上高以上に減少する見込み。
- 設備投資は、設備増強等の投資計画に変更なし。
- 1株当たり配当金は据え置きを予定。年間では中間配当金10円を含め、22.5円を継続。

配当予想（株主還元について）



※2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

安定性・継続性に配慮しつつ

業績動向や配当性向等を総合的に勘案

- 2022年3月期の1株当たり年間配当金は22.5円。
中間配当10円、期末配当12.5円
配当性向は37.0%
- 2023年3月期の1株当たり年間配当金は22.5円を予定。
中間配当10円、期末配当12.5円
修正した業績予想に対する配当性向は46.3%
- 株主優待
毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された、
1単元（100株）以上を保有する株主様を対象に
オリジナルクオカード1,000円分を贈呈。

なお、保有年数3年以上の株主様には1,000円分を
追加で贈呈。

參考資料

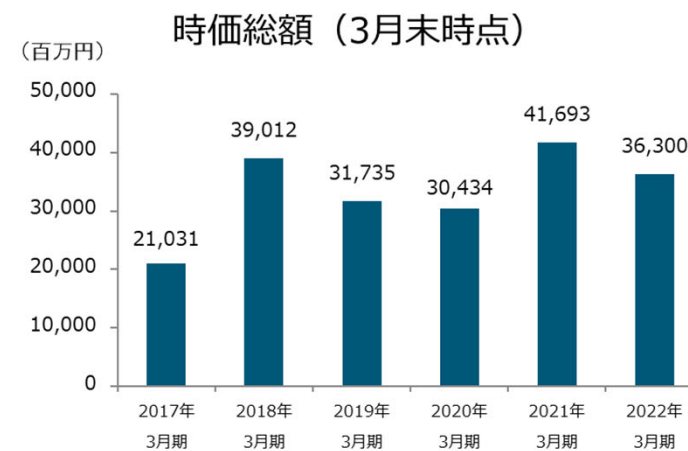
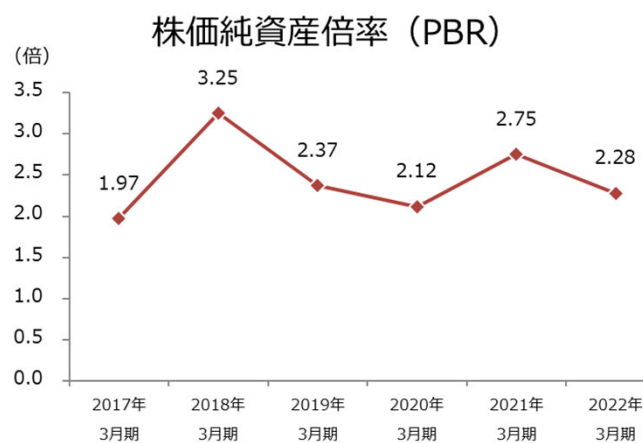
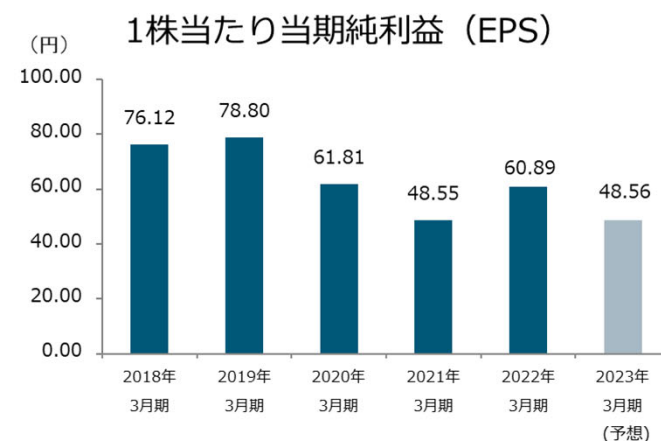
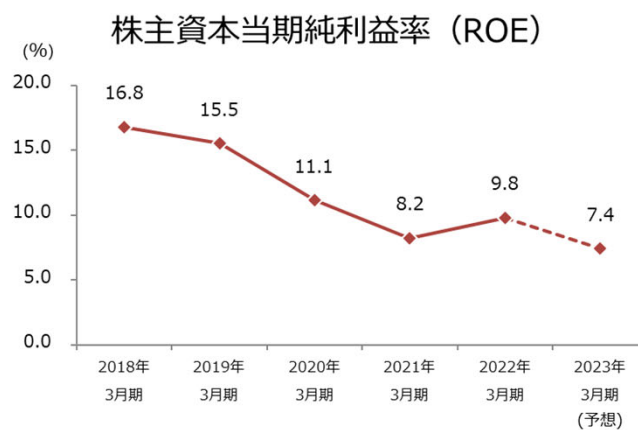
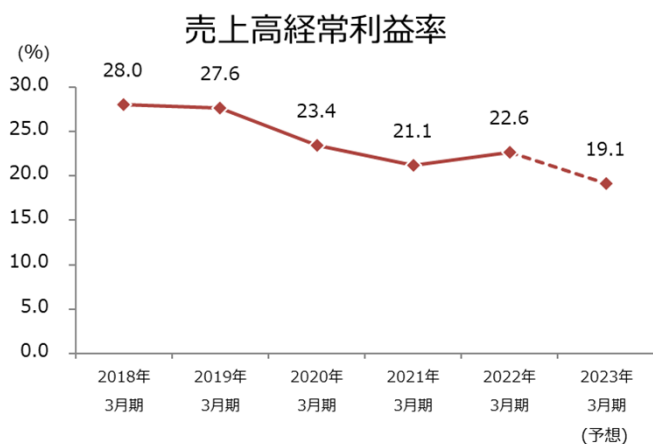


過去5年間の業績と主要データ推移

(単位：百万円)	2018年3月期 通期実績	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期実績	2022年3月期 通期実績
売上高	9,767	10,476	9,531	8,100	9,524
営業利益	2,695	2,879	2,219	1,512	2,111
営業利益率	27.6%	27.5%	23.3%	18.7%	22.2%
経常利益	2,733	2,894	2,231	1,712	2,156
経常利益率	28.0%	27.6%	23.4%	21.1%	22.6%
当期純利益	1,903	1,970	1,545	1,214	1,522
当期純利益率	19.5%	18.8%	16.2%	15.0%	16.0%
有利子負債額	—	—	—	—	—
純資産額	12,002	13,461	14,498	15,326	16,165
総資産額	14,467	15,381	16,017	16,936	17,874
自己資本比率	83.0%	87.1%	89.7%	89.4%	89.2%
設備投資額	663	1,268	1,755	462	659
減価償却費	625	629	698	707	692
1株当たり配当金(円)	22.50	22.50	22.50	17.50	22.50
従業員数(人)	338	343	338	339	348

※2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

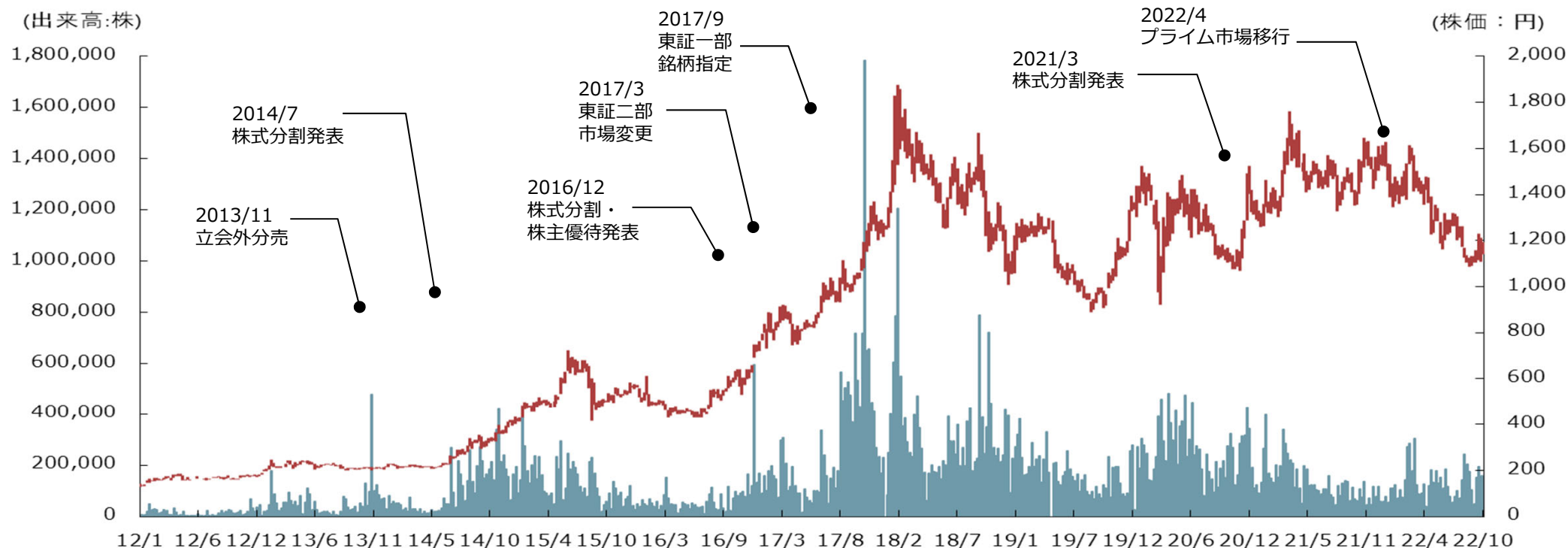
投資指標



※ 2017年1月1日、2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

株価推移とバリュエーション

週足ベース株価推移（2012年1月～2022年10月）



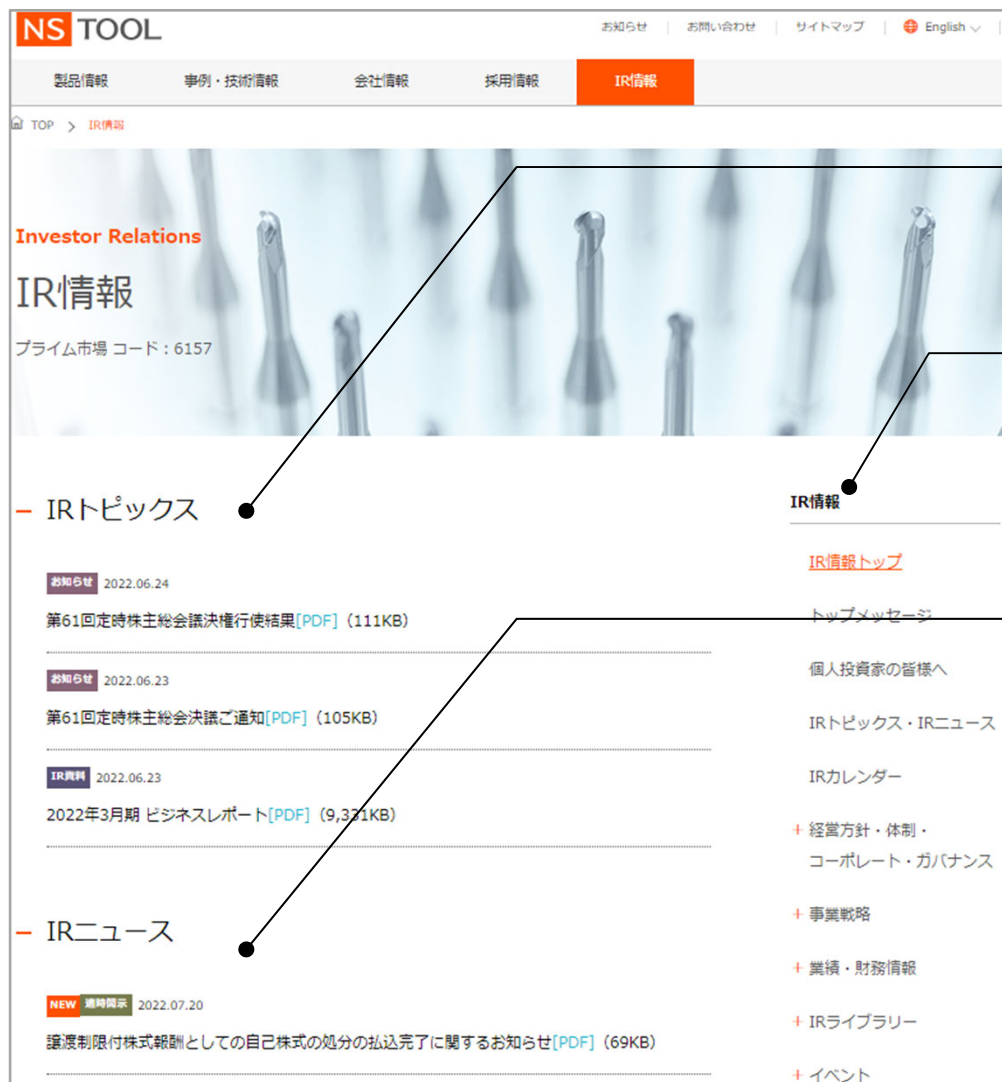
※ 2014年10月1日、2017年1月1日、2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

バリュエーション（2022年10月27日現在）

売買単位	100株
時価総額	288億円
ROE (22/3期実績)	9.8%

単元株価格	11万5,200円
PER (23/3期予想)	23.72倍
PBR (22/3期実績)	1.80倍

IR情報サイトのご案内



IRトピックス

最新のIR活動に関する話題を掲載しています。

メニュー項目

「+」をクリックいただくと各カテゴリーのメニューが表示されます。

現在閲覧中の項目はオレンジ色でハイライト表示となります。

IRニュース

有価証券報告書や決算短信など適時開示情報に関するニュースはこちらで確認いただけます。

URL <https://www.ns-tool.com/ir/>

当社に関する一層の理解を深めていただくためにも是非ご活用ください。

お問い合わせ

日進工具株式会社

取締役	経営企画室長兼管理部長	戸田	覚
管理部	経理課長	今関	弘毅
管理部	I R担当	松尾	友紀子

TEL : 03-6423-1135

FAX : 03-6423-1186

E-mail : ir@ns-tool.com

(注) 将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、
確約や保証を与えるものではありません。
予想と異なることがある点を認識された上でご利用ください。